

家庭科教育にかかわる現状と課題

部長 大野美恵子

1 家庭科教育の動向

(1) 各地区の活動の概要

各地区とも、新学習指導要領を踏まえ、「家庭生活を大切にできる心情」や「生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度」の育成を目指した授業研究や指導資料作り、実技研修等を行った。

(2) 各地区の実践

【上越地区】

市教育研究協議会のテーマ「児童生徒が生活の自立を目指し、進んで実践する態度をはぐくむ支援の工夫」を受け、上越市立城西中学校において実践発表があった。今年度は、全日本教育工学研究協議会全国大会があり、公開授業では「ICTの日常化、体験と言語」をテーマに家庭科部員全員で研修を積むことができた。電子情報ボードを家庭科の授業にどう有効活用していくかを学び、日々の実践に生かしている。

【中越地区】

長岡市三島郡学校教育研究協議会家庭科部会の中で、長岡市立四郎丸小学校で公開授業を行った。6年「楽しい食事を工夫しよう」の学習で、給食の献立を取り上げ、栄養教諭との連携を図り、調和のとれた食事の取り方について児童の理解を深めることができた。

【下越地区】

新発田市学校教育研究会家庭科のテーマ「食育と家庭科とのかかわり」を受け、新発田市立御免町小学校で公開授業を行った。総合・家庭科の合科指導で、5年生は、「わたしの ぼくのおすすめレシピ おにぎり&みそ汁弁当」をテーマに、新発田市食育推進室の栄養士を招いて、栄養、味、季節感、見た目等考慮したレシピを作成した。市全体で食育指導に力を入れている成果が伺える。

佐渡市教育研究協議会家庭科部会では、「地域にある食材を活用して生きる力を育む食育指導のあり方」をテーマに、地域の郷土料理「イカ」「あらめ」料理を実習した。教師が地域の旬の食材の調理法を学び、どのように教材化につなげるかを学び合った。

【新潟市】

新潟市小学校教育研究協議会家庭科部のテーマ「学びを生かし、家庭とつながる生活を創り出す子どもを目指して」を受け、「にいがたプラン」に基づく授業実践を行った。新潟市立葛塚小学校6年「年末クリーン作戦～身の回りを気持ちよくしよう」、新潟市立東曾野木小学校5年「ぴかぴか新米コシヒカリとあったかみそ汁」を授業公開した。自己有用感を高める振り返りと家庭での実践化を視点におき、問題解決的な学習を展開することができた。

2 家庭科教育の課題

家庭科は生きる力そのものを育む教科である。家庭との連携を密にしながら実践的・体験的な授業のあり方を探り、よりよい生活を送るための実践力を身に付けさせていきたい。